



## 子宮筋腫と妊娠



子宮は筋肉でできていますがその筋肉の細胞が異常に増殖してできる良性腫瘍のことを子宮筋腫といいます。

30歳代以降の女性の3～4人に1人は筋腫があるともいわれ、35歳を過ぎると増加しますが閉経後は縮小していきます。

子宮筋腫は良性の腫瘍で徐々に大きくなっていきますが、ガンなどの悪性腫瘍に変化することはありません。発生原因ははっきりしませんが、エストロゲン(女性ホルモン)が関与していると考えられます。

大半が無症状ですが「過多月経(月経量が多い)」「それに伴う鉄欠乏性貧血」「月経痛」そして筋腫が大きくなれば周囲の臓器を圧迫して「排尿困難」や「便秘」がみられる事もあります。

## 子宮筋腫が不妊の原因になるか・・・？

「子宮内膜の変形による着床障害」「子宮内腔の拡大と変形による精子の移送障害」「子宮頸管の変形により精子が頸管部に接近出来ない」「卵管口の変形あるいは閉鎖」等を起こすことが考えられます。

しかし筋腫が関係している不妊は5～10%程度、他の不妊要因を除外すると2～3%に過ぎないとされ、つまり単独で原因となっている割合は少ないと考えられています。

ただし、子宮腺筋症(子宮内膜症の一種)が合併している場合には不妊原因になりやすいとされています。

## 妊娠への影響は以下の様なこともあるとされています(頻度は不明)

## ☆妊娠中

流産・早産  
前期破水  
子宮内胎児発育遅延  
胎児奇形(変形)  
前置胎盤・低置胎盤  
常位胎盤早期剥離  
胎位・胎勢の異常  
排尿障害

## ☆分娩中

分娩停止  
子宮破裂  
微弱陣痛  
癒着胎盤

## ☆産後(問題になることが多い)

弛緩出血・分娩後大量出血  
子宮復古不全  
産褥熱

いずれにしても子宮筋腫の出来ている場所と大きさに関係します。

しかし、子宮内腔に影響しない子宮筋腫でもサイズが大きいと体外受精成績が下がり手術で核出術を施行した場合には妊娠率が上昇し流産率は低下したというデータもあります。主治医と相談しながら薬物療法や手術療法の選択をしましょう。

## お知らせ

3月19日から4週間のカウンセリング件数は、予約のカウンセリングが8件、診察に来られた際に必要に応じておこなった随時のカウンセリングが4件でした。